

「IB Japan:教育委員会及び公立校の管理職を対象とした公立校でのIB導入、実施に関する勉強会」に本校職員が参加しました。

令和7年11月21日(金)

令和7年11月21日(金)に、さいたま市立大宮国際中等教育学校で、上記の研修が開かれ、附属中学校の畠山副校長と全日制の金澤教頭が参加しました。

学校に到着すると、有志の生徒が掃除をしていました。理由を聞くと、「本日研修で外部の方がたくさん集まるので、先生の指示のもと自主的に行ってます。」という返事が返ってきました。恐れ入りました。

次に、研修会場となったさいたま市立大宮国際中等教育学校のBrad Semans先生から、IB校としての7年間を説明していただきました。

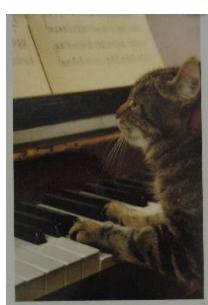
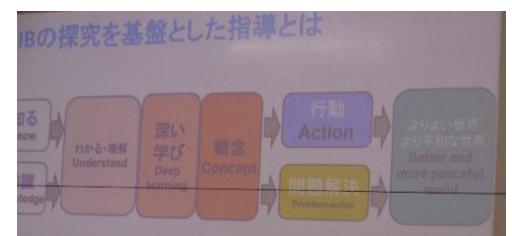
当該校は、さいたま市長が主導して開校した学校で、さいたま市立大宮西高等学校が母体でした。その学校に新しくIBを導入することが決定した当時、校内で大きな反発があったそうです。しかし、そのような時代を乗り越えて、昨年度第1期生が卒業しました。海外大学に23名合格した実績を見ても、同校の今までの取組の正しさを感じました。本校は本年度順調にスタートしましたが、このような先進校を参考にして、さらに素敵な学校にできればと感じました。

その後、IBの担当者から公立学校がIB教育を取り入れる際に注意することなどを、実例を交えてレクチャーしていただきました。

午後は、公開授業を見学しました。16科目の公開授業で、地元埼玉の先生方を含め多くの先生方が公開授業に参加していました。私たちも全ての授業を見学すると同時に、校内の掲示板や図書館など今後本校に必要な情報をたくさん獲得してきました。

今後は、本校でも教員が「探究—行動—振り返り」のサイクルを、授業が終わってからではなく、授業内でも行えるようにすることやこのような大規模な公開授業を定期的に実施できるようにしたいと感じました。

最後に、これからも津島高等学校・附属中学校では、職員が全国の先進校を視察し、本校の学びに役立つことを柔軟に取り入れてまいります。ご期待ください。



練習以上の
ことは出ない

Desire to perform beyond what you've practiced.

愛知県立津島高等学校・附属中学校 教頭 金澤 学